

参加申込方法等

申込方法

- ◆ 専用の葉書、または下の申込書（FAX 専用）に必要事項をご記入の上、**2月17日（金）まで**にお申し込みください。
- ◆ E-mail (info@sokyoken.or.jp) でお申込みの際は、**ご芳名・勤務先/学校名・ご希望の分科会・ご自宅の住所・電話番号**を明記してください。
- ◆ インターネットのホームページからもお申し込みいただけます。当研究所トップページ (<http://www.sokyoken.or.jp>) の「■ 教育セミナー」をクリックいただくと新画面に変わり、下の方に「オンライン申し込み」のボタンがございます。

参加費（研究紀要代を含む）

- ◆ 一般 2,000 円
- ◆ 学生 1,000 円

【参加費は受付にて、現金でお願いいたします。】

ご注意

- ・ 温度設定…室内暖房はエコロジーのため、全館 20℃に設定されています。
- ・ 昼食…施設内では、センター棟 2 階カフェテリア「ふじ」(500 席) やカルチャー棟 2 階レストラン「とき」(200 席)がご利用いただけます。大ホール及び分科会室内は、**飲食厳禁**です。お弁当持参の方は、屋外または大ホール受付の奥のラウンジでお召し上がりください。

連絡先

一般財団法人 総合初等教育研究所
 東京都文京区大塚 3-16-12 (〒112-8635)
 TEL: 03-5976-1309 FAX: 03-5976-1517
<http://www.sokyoken.or.jp>
 (担当: 雑賀 勝/矢野 洋子)

最寄駅のご案内

- 参宮橋駅下車 (小田急線) 徒歩約 7 分
- 代々木公園駅下車 (東京メトロ千代田線) 徒歩約 12 分

※ご記入いただきました「個人情報」は、本教育セミナーのために使用し、第三者への提供・開示はいたしません。

一般財団法人 総合初等教育研究所 主催

第20回 教育セミナー 参加申込書 (FAX 専用)

※ 所定の欄にご記入の上、ご送信ください。複数人でご参加の場合には、お手数でもこの申込書をコピーして人数分をご送信ください。

ご芳名	ふりがな	役職名
勤務先/学校名	TEL.	
分科会は①～⑦より一つだけお選びください。なお、⑦をご希望の場合は、教科もお選びください。		
①国語科 ②社会科 ③算数科 ④理科 ⑤道徳科 ⑥教育課題【外国語】 ⑦授業技術【国語科・算数科】		
ご自宅住所 (〒 -)	TEL.	
E-mail		



seminar
 一般財団法人 総合初等教育研究所
 FAX. 03-5976-1517



第20回 教育セミナー

第9期第1年次研究

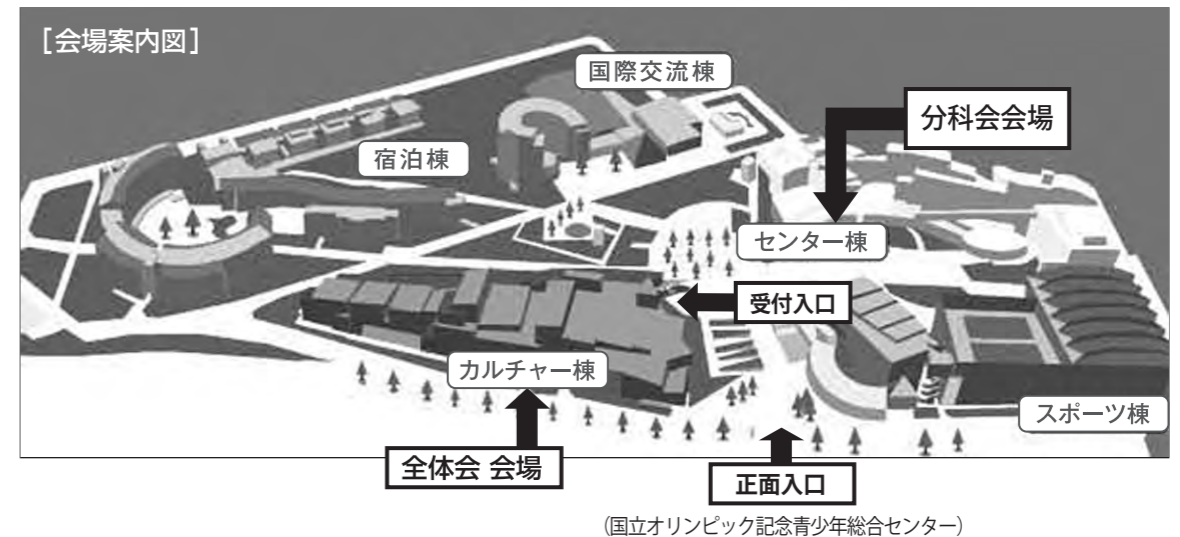
『新教育課程に基づく授業の構想』
 — 資質・能力の育成を目指して —

新学習指導要領の告示が間近になりました。各学校では、「社会に開かれた教育課程の創造」「資質・能力の育成」「アクティブ・ラーニングによる授業改善」「カリキュラム・マネジメント」など新しい課題への対応が迫られています。すでに本研究所では、ワーキンググループや「審議のまとめ」等を踏まえて、各教科での「資質・能力の具体化」「アクティブ・ラーニングの実践」「新しい評価への取組」など新しい授業の創造に向けて研究を推進しています。本年度は、第9期研究の1年目として、上記の研究主題のもとに、各教科による授業実践を積み重ねてきました。ここに、その成果を公開発表し、皆様のご意見を賜りたいと存じます。

ご案内

会場 ▶ 国立オリンピック記念青少年総合センター
 東京都渋谷区代々木神園町3番1号 tel. 03-3467-7201
 【受付：カルチャー棟大ホール入口】

日時 ▶ 平成29年2月25日 [土] 受付 9時30分より
 分科会 10時00分より
 全体会 13時30分より



主催：一般財団法人 総合初等教育研究所
 〒112-8635 東京都文京区大塚 3-16-12 tel. 03-5976-1309 fax. 03-5976-1517
<http://www.sokyoken.or.jp>
 後援：文部科学省・東京都教育委員会
 協賛：株式会社 文溪堂

I 分科会

センター棟

【午前の部】

9:30	10:00	11:00	11:30	11:40	12:30
受付 カルチャー棟 大ホール入口	教科分科会 ● 研究発表 分科会による研究発表	協議 分科会別	休憩	指導講演 分科会別・各教科調査官	昼食・休憩
	教育課題分科会／授業技術分科会（授業技術は12:00まで）				
	オリエンテーション	演習	休憩	グループ・全体発表	助言・まとめ

教科分科会の研究テーマ等について

◆研究発表 当日は、主査の理論案と3名の委員による授業実践を聞くことができます。

◆指導講演 教科調査官の先生方から、新学習指導要領の内容や実践提案について50分間にわたるご講演を伺うことができます。

教育課題分科会(外国語指導)について

◆教科調査官から直接に外国語(英語)指導のあり方を学ぶことができます。
◆絵本を活用した指導事例の紹介をします。

授業技術分科会について

◆教職5年未満の先生、学生の方を対象とした授業技術向上のための分科会です。グループによる演習を中心にワークショップ形式で学びます。

国語科

テーマ	言葉の力を身に付け活用し、学びに向かう児童を育てる国語科の授業づくり
主査	明星大学特任准教授 邑上 裕子 先生
委員	東京都東村山市立久米川東小 / 葉子 綾 先生 東京都新宿区立落合第一小 / 福山貴司 先生 東京都墨田区立第三寺島小 / 関口友子 先生
助言者	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 水戸部修治 先生

社会科

テーマ	主体的・対話的な学習による社会科の授業づくり
主査	一般財団法人 総合初等教育研究所室長 梶井 貢 先生
委員	東京都江東区立第七砂町小 / 大木直之 先生 東京都中野区立江古田小 / 笠原 駿 先生 東京都世田谷区立北沢小 / 田内利美 先生
助言者	文部科学省初等中等教育局視学官 澤井 陽介 先生

算数科

テーマ	自ら課題を見つけ、主体的・対話的に行う算数の問題解決
主査	帝京大学 客員教授 廣田 敬一 先生
委員	東京都日野市立日野第三小 / 青木裕子 先生 東京都三鷹市立高山小 / 門田剛和 先生 東京都世田谷区立瀬田小 / 山口和也 先生
助言者	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 笠井 健一 先生

理科

テーマ	問題を科学的に解決する資質・能力を育成する理科学習
主査	帝京平成大学 准教授 永田 学 先生
委員	お茶の水女子大学附属小 / 三井寿哉 先生 東京都あきる野市立西秋留小 / 木月里美 先生 東京都足立区立梅島第一小 / 中村健太郎 先生
助言者	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 鳴川 哲也 先生

道徳科

テーマ	自ら考え、共に議論する道徳科の授業づくり
主査	元東京家政学院大学 教授 長谷 徹 先生
委員	東京都八王子市立横川小 / 野手幹博 先生 埼玉県さいたま市立浦和別所小 / 小島嘉之 先生 東京都千代田区立九段小 / 春原裕太 先生
助言者	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 赤堀 博行 先生

教育課題

テーマ	次期学習指導要領での外国語の指導のあり方 — 絵本の活用に焦点を当てて —
講師	文部科学省初等中等教育局教育課程課教科調査官 直山 木綿子 先生

授業技術

テーマ	どの子にも分かる授業づくり — 発問・指示・助言(個別支援) — 【国語科・算数科】
主査	一般財団法人 総合初等教育研究所室長 根岸 永福 先生
委員	東京都練馬区立豊玉南小 / 渡瀬雅江 先生 東京都渋谷区立渋谷本町学園小 / 小木和美 先生 東京都青梅市立第二小 / 松井優子 先生 東京都練馬区立仲町小 / 嵐 元秀 先生 東京都中央区立佃島小 / 加藤賢一 先生 東京学芸大学附属大泉小 / 神保勇児 先生

II 全体会

カルチャー棟：大ホール

【午後の部】

13:30	13:45	14:30	14:40	16:10	16:20	17:20	17:30
開会挨拶・研究概要	● 基調講演 「新学習指導要領について」	休憩	● シンポジウム 「新学習指導要領をめぐって」	休憩	● 特別講演 「未来を拓き、生き抜く力を育てる — ディズニーとキッザニアで取り組んだこと —」	閉会挨拶	

開会挨拶

一般財団法人 総合初等教育研究所理事長 水谷 邦照

研究概要

一般財団法人 総合初等教育研究所室長 梶井 貢

基調講演

「新学習指導要領について」

文部科学省初等中等教育局教育課程課 教育課程企画室長 大杉 住子 先生



▲全体会の様子

シンポジウム

「新学習指導要領をめぐって」

シンポジスト：文部科学省初等中等教育局教育課程課 教育課程企画室長 大杉 住子 先生
 シンポジスト：国士舘大学 教授 北 俊夫 先生
 シンポジスト：東京都新宿区立西戸山小学校 校長 種村 明頼 先生
 コーディネーター：帝京大学 教授 清水 静海 先生



今回のシンポジウムでは、次のような視点から論議を深めます。

1. 資質・能力の育成をどう具体化するか。
2. アクティブ・ラーニングによる授業をどう進めるか。
3. 新しい評価をどう実践していくか。
4. 実践に向けて学校体制をどう整えるか。

特別講演

「未来を拓き、生き抜く力を育てる — ディズニーとキッザニアで取り組んだこと —」



株式会社チャックスファミリー 代表取締役 安孫子 薫 先生

教育の観点でディズニーとキッザニアに共通する点は、生き抜く力を育てること。
 東京ディズニーリゾートとキッザニア東京で運営部門のトップとして仕事をした経験から、顧客となる“子ども”教育の考え方はもちろん、そこで働く“従業員”教育についても、経験談を交えて話します。

閉会挨拶

一般財団法人 総合初等教育研究所室長 根岸 永福